

令和8年度

中堅教諭等資質向上研修
専門性向上研修
実施要項



島根県教育委員会

目 次

島根県の教職員として求められる資質能力	1
島根県公立学校教育職員の育成指標	2
中堅教諭等資質向上研修 実施要項・様式集	
教諭	5
養護教諭	21
栄養教諭	39
幼稚園教諭	57
専門性向上研修 実施要項・様式集	
寄宿舎指導員	79
中堅教諭等資質向上研修 専門性向上研修 参考資料集	
研修情報システムの操作方法	94
研修に役立つ資料	102

この実施要項では、下表の左欄の表記を右欄のとおり表記する。

島根県教育委員会	県教育委員会
島根県教育センター浜田教育センター	浜田教育センター
島根県教育センター研修情報システム	研修情報システム
分校、分教室、乃木校舎	分教室

島根県の教職員として求められる資質能力

教職員として求められる資質能力は、普遍的でいつの時代にも求められるものと、時代の変化に対応してその時代時代に求められるものがある。社会の変化や時代のニーズに応える学校教育の実現には、教職員の職務に応じた資質能力の向上が不可欠である。職務に関わる専門的知識・技能の他、様々な課題に対応するための実践的指導力の向上を図るためには、常に探究心を持ち自主的に学び続ける力が求められている。また、学校組織の一員としてのコミュニケーション能力、他者と連携・協働する力も大切である。

そこで、島根県の教職員として求められる資質能力を次のように定める。

島根県の教職員として求められる資質能力

- 豊かな人間性と職務に対する使命感
- 子どもの発達への支援に対する理解と対応
- 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度
- 学校組織の一員として考え行動する意欲・能力
- よりよい社会をつくるための意欲・能力

キャリアステージに応じて求める姿と育成する資質能力

【採用までに身に付けておいて欲しいこと】

新規採用された段階。教職課程認定を受けた大学等、養成段階での学修等を通して、教育職員として勤めるための素養や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けていることが必要である。

【自立・向上期(1～5年目)】

新規採用時からおよそ5年目までの5年間の期間にあたり、教育職員として授業や学級経営等の実践的指導力を身に付けて自立し、向上心を持って成長していく基盤を固める期とする。

【探究・発展期(6～15年目)】

およそ6年目から15年目までの10年間の期間にあたり、教育職員として意欲的に教育活動を実践し、得意分野を開発・探究していくなどにより専門的な知識及び技能の充実を図る期とする。

【充実・円熟期[前期](16年目～概ね25年目)】

経験16年目以降から概ね25年目の期間にあたる。教育職員として様々な教育実践を重ねることで教科等の専門的知識及び技能を高めるとともに、主任やミドルリーダーとしての自覚や責任を持って教育活動を円滑に進める資質能力を高めていく期とする。

【充実・円熟期[後期](概ね26年目以降)】

概ね経験26年目以降の期間であり、経験豊富で知見があるベテラン層の年代にあたる。教育職員として教科等の専門的知識及び技能をさらに高めていきながら、学校運営にも積極的に参画し、後進にも適切な助言を与えるなど人材育成を図っていく期とする。

養護教諭の専門性に基づく育成指標

領域・分野	キャリアステージ (採用までに身に付けておいて欲しいこと *2)	自立・向上期 (1~5年目)	探究・発展期 (6~15年目)	充実・円熟期 (16~概ね25年目) (26年目以降)	
				【前期】 *3	【後期】
保健管理	・学校保健安全法を理解し、保健管理に関する基礎的な知識・技術を習得している。	・救急処置、健康診断、健康観察、疾病管理・予防等の保健管理を通して子どもの健康実態を把握し、適切に対応することができる。	・自校の健康課題を的確に把握し、保健管理を学校保健計画に位置づけ、教職員や関係機関と連携して組織的に対応することができる。	・最新の知識や技能を習得し、保健管理の結果を効果的に活用し、自校の健康課題解決に向け、校内において指導的な役割を担うことができる。	・最新の知識や技能を生かして保健管理の充実を図り、自校の健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
保健教育	・専門性を生かした養護教諭の役割を理解し、学習指導要領に関する基礎的な知識を習得している。	・子どもの実態から健康課題を捉え、学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実践することができる。	・子どもの健康実態や生活実態から自校の健康課題を的確に把握し、その解決に向けた保健教育を計画、実践、評価、改善し、組織的に推進することができる。	・自校や地域の健康課題解決に向け、教育活動全体を通じて校内外の関係者と連携を図りながら、発達の段階を踏まえた体系的な保健教育を推進することができる。	・最新の保健情報や知見等を活用して保健教育の充実を図り、自校の健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
健康相談・保健指導	・学校保健安全法における健康相談・保健指導の位置づけ及び発達の段階における健康課題とその対応について理解している。	・健康相談・保健指導の基本的プロセスを理解し、子どもの心身の健康課題や現代的健康課題との関連を踏まえて、必要な支援を行うことができる。	・子どもの心身の健康課題を的確に捉え、関係者が連携・協働する組織体制をつくり、健康相談・保健指導を通じた効果的な支援を展開することができる。	・子どもの心身の健康課題に応じ、専門的観点を生かした健康相談・保健指導を行うとともに、学校内外の関係者との連携におけるコーディネーター的役割を果たすことができる。	・最新の保健情報や知見、関係者との連携を通して健康相談・保健指導の充実を図り、自校の健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
保健室経営	・養護教諭の職務と役割、学校保健活動のセンター的機能を果たす保健室の役割を理解している。	・学校教育目標を踏まえ、子どもの健康課題の解決に向けた保健室経営計画を作成し、計画に沿って実践することができる。	・学校教育目標を踏まえ、子どもの健康課題の解決に向けた保健室経営計画を基に、教職員と連携して組織的な保健室経営を実践することができる。	・学校教育目標の実現に向け、保健室経営計画を基に、評価・改善を図りながら、効果的に保健室経営を推進することができる。	・学校経営の観点に立って保健室経営の充実を図り、学校教育目標の達成と健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
保健組織活動	・保健組織活動の意義と学校・家庭・地域等の協力体制の重要性を理解している。	・家庭・地域等と連携し、子どもの健康課題解決に向けた保健組織活動を推進することができる。	・学校と家庭・地域等の実態を適切に把握・分析し、自校の健康課題解決に向け、計画的・組織的に保健組織活動を推進することができる。	・自校の健康課題や地域の健康実態を踏まえて家庭・地域等とネットワーク体制を構築し、保健組織活動の推進におけるコーディネーター的役割を果たすことができる。	・地域の特性や家庭の実態を踏まえて健康課題を捉え、校内外の関係者との連携を通して保健組織活動の充実を図るとともに、地域においても後進を育成することができる。

※養護教諭には、教諭等の育成指標「3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度 ⑥教科等の指導に関する専門性」に加え、その専門性に基づき、上記の資質能力が求められる。

栄養教諭の専門性に基づく育成指標

領域・分野		キャリアステージ (採用までに身に付けておいて欲しいこと *2)	自立・向上期 (1~5年目)	探究・発展期 (6~15年目)	充実・円熟期	
					(16~概ね25年目) 【前期】 *3	(26年目以降) 【後期】
食に関する指導	給食の時間・教科等における指導	・教育活動全体を通して食育を推進するための基礎的な知識を習得している。	・学習指導要領や児童生徒の実態に基づいた指導の必要性を理解し、食育の視点を位置づけた指導ができる。	・学習指導要領に基づいた食に関する指導内容を企画・調整し、給食献立計画と関連づけながら実践するとともに、その評価を行うことができる。	・学校教育活動全体を視野に入れ、指導体制を整えて効果的に食育推進組織の計画、実践、評価し、改善を図ることができる。	・地域、近隣の学校などとの連携・調整を図り、市町村の食育計画や推進に関して主体的に関わることができる。
	個別的な相談指導	・児童生徒の個別の栄養相談の重要性を理解している。	・食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有し、個々の状況に応じて適切に対応できる。	・関係機関と連携しながら、個別的教育支援計画に基づき、個別の指導計画の作成に参画し、活用することができる。	・組織的な校内支援体制を構築し、関係機関等と連携を図りながら、児童生徒の食に関する健康課題等について適切に対応することができる。	・食に関する健康課題への予防策や対応策について校内や地域で積極的に発信し、関係者の課題への理解や意識の向上に向けた取組を推進することができる。
学校給食の管理	栄養管理	・学校給食の教育的意義を理解し、適切な栄養管理に関する基礎的な知識を有している。	・学校給食実施基準に基づくとともに、食品構成を考慮した献立を作成することができる。	・児童生徒の成長や地域の特性を踏まえた栄養管理を行うとともに、適切な評価や改善を行うことができる。・調理従事者や施設に合わせた献立を作成し、調理指導ができる。	・児童生徒の実態に沿った栄養管理の在り方について関係者と共有し、課題解決のための指導助言を行うことができる。・給食管理を食に関する指導と一体化した視点から評価・改善し、学校や地域の特色に応じた献立作成をすることができる。	・献立作成や調理指導の方法に関し、他の栄養教諭等に対して指導的役割を果たすことができる。
	衛生管理	・衛生管理の重要性について理解し、適切に実施するための意欲を有している。	・学校給食衛生管理基準に基づき、具体的な対応方法を考え、指導することができる。	・学校給食施設の設備や調理従事者の状況を踏まえ、適切に学校給食衛生管理基準を適用することができる。	・調理作業や施設の衛生管理について課題を的確に捉え、改善するとともに、学校における衛生管理などを含め、適切な指導・助言ができる。	・衛生管理に関する高い専門的知識を生かした実践を踏まえ、他の栄養教諭等に対して指導的役割を果たすことができる。

※栄養教諭には、教諭等の育成指標「3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度 ⑥教科等の指導に関する専門性」に加え、その専門性に基づき、上記の資質能力が求められる。

令和8年度

専門性向上研修 実施要項・様式集 (寄宿舍指導員)



問い合わせ先

島根県教育センター 企画・研修スタッフ

〒690-0873 松江市内中原町255-1

TEL (0852)22-5853

島根県教育センター浜田教育センター 研究・研修スタッフ

〒697-0023 浜田市長沢町1550-1

TEL (0855)23-6782

島根県教育委員会

専門性向上研修(寄宿舍指導員)実施要項

1 目的

教職経験年数に応じた研修の一環として、個々の能力や適性等に応じて、寄宿舍指導員としての専門的知識及び技能を高めるとともに、中堅寄宿舍指導員としての自覚を持って、学校運営等の重要な役割や若手寄宿舍指導員への指導的役割を果たす上で必要な資質能力の向上を図る。

2 研修の対象者

(1)平成18年度以降に採用された公立の特別支援学校における寄宿舍指導員のうち、令和7年度末に教職経験年数(以下、「経験年数」という。)が10年以上の者で、専門性向上研修をまだ受講していない者。

なお、対象となる者のうち、令和8年度に専門性向上研修を受講する者を「受講者」とする。

※経験年数の計算にあたっては島根県教職員人事異動ルールに従う。なお、県外での正規採用(任期付採用を除く)の教職経験年数も含める。

(2)当該年度において、教員長期社会体験研修に派遣されている該当者は、研修を延期する。県内の公立学校勤務になってから受講する。

(3)以下の者は、研修を免除する。

ア 他の任命権者が実施する専門性向上研修(10年経験者研修)を修了した者

※ただし、希望により受講することができる。

イ 当該年度に、兵庫教育大学・島根大学教職大学院派遣研修に派遣されている者

※ただし、学校勤務になってから受講することができる。なお、教職大学院派遣研修を修了できなかった場合は、学校勤務になってから受講する。

ウ 指導主事、社会教育主事その他教育委員会の事務局において、学校教育又は社会教育に関する事務に従事した経験を有する者で、県教育委員会が当該者の経験の程度を勘案して、実施する必要がないと認める者。

※ただし、希望により受講することができる。

エ 特別な事情により、県教育委員会が定める者

3 研修期間と認定

(1)県教育委員会が定める年度の1年間とする。

(2)全ての研修を修了した者を研修修了と認定する。なお、研修期間については、特別な事情があった場合、8ヵ月以上の研修期間を有することとする。

※年度途中で受講者の研修の継続に困難な状況が生じた場合、校長は所属教育センターに連絡する。

4 所属教育センター

島根県教育センター

5 校内の指導体制

校長は、学校全体としての協力体制を確立し、適宜適切な指導及び助言を行う。

6 研修内容

(1)OJT研修（日常の職務を通して、計画的・重点的に職務に必要な資質能力の向上を図る研修）

自己課題の探究(通年)

[ねらい]

自己の在り方について気づきを醸成し、探究心を持ちつつ自律的に学び続けようとする意欲と実践力の向上を図る。

[内容及び方法]

- ・年間を通じて、自己課題の解決に向けた探究的な取組を行う。
- ・「自己課題の探究」についての報告及び協議を行う(2回:構想、まとめと今後の展望)。
- ・報告書[様式3]に「自己課題の探究による気づき」及び「これから取り組みたいこと」をまとめ、報告する。

(2)Off-JT研修（日常の職務を離れて、計画的・重点的に職務に必要な資質能力の向上を図る研修）

教育センター研修(3.5日)

[ねらい]

- ・受講者同士の対話を通して互いに学び、実践的意欲や態度を養う。
- ・学校運営等の円滑かつ効果的な実施において、重要な役割を果たす上で必要な資質能力の育成を図る。
- ・専門的知識及び技能を高める。

[研修方法及び研修場所]

- ・集合研修(2日) ……………教育センターが指定した会場
- ・オンライン研修(0.5日) ……………所属校又は校長が指定した場所
- ・オンデマンド研修(1日) ……………所属校又は校長が指定した場所

[教育センター研修の期日、会場及び研修項目等]

回	期日	会場	研修項目等
第Ⅰ回	5月8日(金)	浜田教育センター	○始まりの会
	5月14日(木)	出雲合同庁舎	○キャリアの振り返り【ホームグループ】
	5月15日(金)	島根県教育センター	○学校組織マネジメント【ホームグループ】 ○自己課題の探究1【ホームグループ】 ○リフレクション【ホームグループ】
第Ⅱ回	7月29日(水)	出雲合同庁舎	○イントロダクション【ホームグループ】
	7月30日(木)	島根県教育センター	○組織コーディネート【探究グループ】
	8月7日(金)	浜田教育センター	○自己課題の探究2【探究グループ】 ○リフレクション【ホームグループ】
第Ⅲ回	令和9年 1月20日(水)	所属校又は 校長が指定した場所	○イントロダクション【ホームグループ】
	令和9年 1月21日(木)		○自己課題の探究3【探究グループ】
	令和9年 1月22日(金)		○キャリアの展望【ホームグループ】

オンデマンド 研修	7月1日(水) ～ 令和9年 2月25日(木)	所属校又は 校長が指定した場所	①人権教育 ②教職員の倫理と服務 ③竹島に関する学習 ④生徒指導・教育相談 ⑤キャリア教育 ⑥特別支援教育 ⑦教育の情報化 ⑧メンタルヘルス ⑨教育職員としての資質能力を高めるために
--------------	----------------------------------	--------------------	---

※各回の教育センター研修実施要項は、実施日の3週間前に研修情報システムMyPageに公開する。

※第Ⅰ回、第Ⅱ回の教育センター研修会場は、以下のとおり

- 島根県教育センター 松江・隠岐地区の特別支援学校
- 出雲合同庁舎 出雲地区の特別支援学校
- 浜田教育センター 大田・浜田・益田地区の特別支援学校

※第Ⅲ回の教育センター研修の期日は、以下のとおり

- 第Ⅰ回及び第Ⅱ回の研修において浜田教育センターが研修会場となる受講者 : 1月20日(水)
- 第Ⅰ回及び第Ⅱ回の研修において出雲合同庁舎が研修会場となる受講者 : 1月21日(木)
- 第Ⅰ回及び第Ⅱ回の研修において島根県教育センターが研修会場となる受講者 : 1月22日(金)

※受講者が、教育センター研修を欠席、遅刻、早退、会場・期日の変更をする場合、管理職は所属教育センターに連絡する。

※教育センター研修を欠席した場合、受講者は所属教育センターの課す補充的研修を校内において実施し、そのレポートを所属教育センターの長に提出する。なお、レポートは管理職の指導と決裁を受けたものとする。

※オンデマンド研修は、研修項目に挙げた項目を全て視聴する。視聴後は、2つの項目について、研修情報システムMyPage[アンケート]から回答するとともに、回答したアンケートを活用して、校長へ報告する。なお、①～③、⑤～⑨については、研修情報システムMyPage[研修動画]から視聴する。また、④については、研修情報システムMyPage[教職員学びサポート]の「生徒指導・教育相談」のシリーズ等から1つを選んで視聴する。

[教育センター研修項目別の目的と内容]

	研修項目	目的と内容
第Ⅰ回 (集合)	キャリアの振り返り	自身の教育観を捉え直し、これからの教育実践に向けた意欲を高める。
	学校組織マネジメント	学校組織マネジメントの必要性や中堅教諭等としての役割について理解し、学校運営等に積極的に関わろうとする意欲を持つとともに、実践力を身に付ける。 (ア) 学校組織マネジメントの必要性 (イ) 中堅教諭等としての役割
	自己課題の探究Ⅰ	中堅教諭等として学校教育目標の実現に向けた取組について自己の問いを見だし、自己課題の探究の見通しを持つ。 (ア) 自己課題の設定に向けて

第Ⅱ回(集合)	組織コーディネート	学校組織の中堅教諭等として、他者と適切に連携・協働していくためのよりよいかかわり方について実践力の向上を図る。 (ア)若手教職員とのかかわり (イ)児童生徒・保護者とのかかわり
	自己課題の探究2	自己課題の解決に向けた取組を振り返るとともに、今後の展望を持つ。 (ア)自己課題の解決に向けて
第Ⅲ回(オンライン)	自己課題の探究3	自己課題の解決に向けた課題を明らかにし、今後の展望を持つ。 (ア)成果と課題
	キャリアの展望	自身の探究について振り返るとともに、これからも探究心を持ちつつ自律的に学び続けようとする実践意欲を高める。
オンデマンド研修	人権教育	中堅教諭等として、誰もが安心して学びに向かえる学校づくりを推進するため実践力を高める。 (ア)しまねがめざす人権教育の理念に基づく組織的な取組の推進 (イ)人権が尊重される環境・集団づくりのために
	教職員の倫理と服務	教職員として、高い倫理観と教職に対する情熱・意欲や使命感、責任感を持つ。 (ア)教育法規等についての理解 (イ)事例から学ぶ
	竹島に関する学習	竹島問題について、歴史的事実や国際法上の根拠等についての理解を深め、竹島に関する学習を充実させるための指導力を高める。 (ア)島根の指導者に求められること (イ)竹島問題についての正しい理解 (ウ)「竹島に関する学習」のこれから
	生徒指導・教育相談	児童生徒・保護者等を適切に支援し、様々なケースに対応していく力量や校内での生徒指導・教育相談の推進を図る。 (ア)児童生徒・保護者等への支援 (イ)状況に応じた連携支援
	キャリア教育	児童生徒の実態に合わせたキャリア・パスポートの活用方法を理解するとともに、組織の一員としての実践意欲、実践力の向上を図る。 (ア)児童生徒の実態に応じたキャリア・パスポートの活用 (イ)校内におけるキャリア・パスポートの活用推進 (ウ)キャリア・パスポートを活用したカリキュラム・マネジメント
	特別支援教育	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進について理解を深め、校内での特別支援教育の推進を図るための実践力を高める。 (ア)校内における特別支援教育の推進 (イ)児童生徒等の実態把握と切れ目ない支援
	教育の情報化	学習の基盤となる資質・能力の一つである「情報活用能力」の育成や「教育情報セキュリティ」について理解するとともに、教職員に求められるICT活用指導力等の向上をめざす。 (ア)情報活用能力の育成(情報モラルを含む) (イ)教育情報セキュリティ
	メンタルヘルス	職責やライフステージの変化に伴うストレス増加に対しての考え方や対処方法を身に付ける。 (ア)教職員の現状及びストレスの基礎知識 (イ)ストレス対処法
	教育職員としての資質能力を高めるために	学校全体を捉えた教育の視野を広げるために、中堅時に求められる資質能力や役割を理解し、自らのキャリアプランをイメージしながら、学び続けようとする実践意欲を高める。 (ア)中堅時に求められる資質能力や役割 (イ)学校組織への関わりを学ぶ

7 研修計画

(1) 自己評価

- ・受講者は、5つの「育成指標における資質能力」について、資質能力自己評価表[様式2]の「研修前評価」を記入し、これまでの実践等を振り返り、自己の優れている点及び課題を計画書[様式1]に記入する。
- ・受講者は、5つのうちから「重点とする資質能力」を1つ選び、今年度伸ばしたい点を計画書[様式1]に記入する。

(2) 校長面接

- ・校長は、島根県教職員評価システムにおける年度当初面接等を利用し、(1)について受講者と面談を行う。
- ・校長は、受講者の資質能力や課題、得意分野、研修内容の希望等について聴取するとともに、受講者に対する今年度の育成方針を伝え、共通理解を図る。

(3) 計画書の作成

- ・受講者は、管理職と相談しながら研修計画を立て、計画書[様式1]を作成し、校長に提出する。

(4) 計画書の提出

- ・校長は、受講者から提出された計画書[様式1]を、研修情報システム学校Page[報告書提出]からPDFファイルで提出する。

8 研修報告

(1) 自己評価

- ・受講者は、5つの「育成指標における資質能力」について、資質能力自己評価表[様式2]を基に1年間の研修の取組について振り返る。

(2) 校長面接

- ・校長は、島根県教職員評価システムにおける年度末面接等を利用し、受講者と面談を行う。
- ・校長は、受講者の資質能力について向上したところ、取組の成果や課題、今後への期待などを受講者に伝える。

(3) 報告書の作成

- ・受講者は、校長面接で受けた指導・助言等をもとに報告書[様式3]を作成し、校長に提出する。

(4) 報告書の提出

- ・校長は、受講者から提出された報告書[様式3]を、研修情報システム学校Page[報告書提出]からPDFファイルで提出する。

9 提出物、提出方法及び締切日

	様式	提出物	提出方法		締切日
			研修情報システム My Page	学校 Page	
①	様式1	計画書		○	令和8年 6月18日(木)
②	—	オンデマンド研修アンケート	○		令和9年 2月25日(木)
③	様式3	報告書		○	

※上記の一覧表を参照し、校長の指導・助言、決裁を受け、締切日までにPDFファイルで提出する。

※受講者は、②を研修情報システムMyPage[アンケート]から回答する。

※受講者は、①③を校長に提出する。

※校長は、①③を研修情報システム学校Page[報告書提出]からそれぞれ別々のフォルダに提出する。

※著作権、個人情報及び肖像権等に十分配慮する。

10 その他

研修の成果は、職員へ還元し、より多くの職員の資質能力の向上と学校の活性化につながるように努める。
さらに、校内研修はもとより、県内の各種研修会等で積極的に発表することが望ましい。

様式 1

〇〇〇第〇〇号
令和8年〇月〇〇日

島根県教育センター所長 様

〇〇学校長 〇〇〇〇

令和8年度 専門性向上研修 計画書

1 受講者

職 名		氏 名		研修用 個人番号 ※1	
主な校務分掌					

※1 4月中に研修情報システム MyPage によって連絡する名簿に記載されている3桁の番号のこと。(8桁の職員番号ではない)

2 受講者の自己評価

育成指標における資質能力	優れている点及び課題
1 豊かな人間性と職務に対する使命感	
2 子どもの発達の支援に対する理解と対応	
3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度	
4 学校組織の一員として考え行動する意欲・能力	
5 よりよい社会をつくるための意欲・能力	
重点とする資質能力(番号)	今年度伸ばしたい点
上から1つ選びその数字を記入 ()	

3 研修計画

(1) OJT研修

ア 自己課題の探究

【テーマ】

資質能力番号※	テーマ

※テーマに最も近い番号を様式2「資質能力自己評価表」の「資質能力」の列にある①～⑫の中から選ぶ。

【報告及び協議】

段 階	実 施 予 定 月
構 想	月
まとめと今後の展望	月

(2) Off-JT研修

オンデマンド研修

研修内容	視聴予定月	研修内容	視聴予定月
①人権教育	月	⑥特別支援教育	月
②教職員の倫理とサービス	月	⑦教育の情報化	月
③竹島に関する学習	月	⑧メンタルヘルス	月
④生徒指導・教育相談	月	⑨教育職員としての資質能力を高めるために	月
⑤キャリア教育	月		

※ 計画書は2ページに収める。

※ PDFファイルに変換し、ファイル名を 研修用個人番号(半角英数字)・専門研・計画書・学校名・氏名 として提出する。

(例) 811・専門研・計画書・〇〇養(学校)・〇〇〇〇

様式2 (寄宿舎指導員) 資質能力自己評価表(探究・発展期)

学校名[] 氏名[]

【評価】 4:よく当てはまる 3:当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない ○で囲む

資質能力	育成指標	評価項目	研修前評価	研修後評価
1 豊かな人間性と職務に対する使命感	①人間理解・人権意識	職員の姿が子どもに影響を及ぼすことを理解し、子どもが一人の人間として大切にされていると実感できる環境づくりを心掛けている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な価値観を尊重する態度や幅広い視野・知識を身に付けている。	4 3 2 1	4 3 2 1
	②職務に対する誇りと責任	高い倫理観と教職に対する使命感、責任感を持ち、教育職員として生涯を通じて学び続け、子ども一人一人の主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たしている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		危機管理意識を高め、教育活動における事故・災害等に対して備えたり、事前指導、対応、事後指導を行ったりできるようにしている。	4 3 2 1	4 3 2 1
③ふるさとを愛する心	地域の自然・歴史・文化・伝統を理解し尊重する態度、ふるさとを愛する人材育成への意欲を有している。	ふるさとを愛し、県や学校の所在する地域の長を理解するとともに、「ふるさと教育」を積極的に行っている。	4 3 2 1	4 3 2 1
2 子どもの発達の支援に対する理解と対応	④生徒指導の推進	子どもとの信頼関係づくりに努めるとともに、子ども相互の好ましい人間関係を構築する視点で個に応じた指導や集団指導を積極的に行っている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		学校の特徴や地域の実情を踏まえつつ、日常的な教育活動を通じて、子どもたちが社会的自立に向けた資質・能力を身に付けられる取組を積極的に行っている。	4 3 2 1	4 3 2 1
		子どもが、学ぶことと社会とのつながりを意識し、自分らしい生き方を実現するための支援を組織的に行っている。	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤特別支援教育の推進	一人一人の教育的ニーズを把握し、支援計画や指導計画等に基づき、子どもが安心安全に生活できるよう努めている。	4 3 2 1	4 3 2 1
校内の教職員間で共通理解を図り、すべての子どもの学びが保障されるための学習環境づくりや指導実践に努めている。		4 3 2 1	4 3 2 1	

資質能力		育成指標	評価項目	研修前評価	研修後評価
3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度	⑦ICTや情報の利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・教育データを整理・分析し適切に業務に取り入れながら、ICTをより効果的な形で活用することができる。 ・学校におけるICT活用の意義を理解し、教育活動の中で効果的に活用するとともに、他の教職員と共有し広めていくことができる。 ・子どもの情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するための授業実践を行うことができる。 	ICTを活用し、子どもの情報活用能力育成のための計画立案や実践に努めている。	4 3 2 1	4 3 2 1
			校務の効率化及び子どもの学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用している。	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑧社会の変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな学びや教育課題に対して、適切な対応の仕方を提案し、協働して取り組むことができる。 	新たな学びや教育課題に対応した教育(「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、いじめ・不登校等への対応、特別支援教育の充実、ICTの活用等)の推進に向けて校内で協働して取り組む体制を整え、実践に努めている。	4 3 2 1	4 3 2 1
4 学校組織の一員として 考え行動する意欲・能力	⑨学校組織マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の一員としての役割を理解し、学校の課題に対応することができる。 	学校教育目標や経営方針に基づき、自らが担当する校務分掌に関する計画及び指導や支援計画等を立て、その実現を図るとともに、適宜評価を行い改善に努めている。	4 3 2 1	4 3 2 1
			組織の一員としての役割を理解し、寄宿舎指導員は創造的で魅力ある仕事であることの認識と誇りをもって働いているとともに、働き方改革の実現に向けて積極的に取り組んでいる。	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑩他者との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・経験豊かな教職員から多くのことを学ぶとともに、同僚と連携・協働しつつ、後進に助言を与えるなどして育成にも目を向けることができる。 	同僚等から学ぶ姿勢を持つとともに、連携・協働して自校の課題解決を図っている。	4 3 2 1	4 3 2 1
5 よりよい社会をつくるための意欲・能力	⑪地域資源の活用と地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校外の様々な地域資源や機会を活用し、地域と連携した学校教育活動を効果的に実践することができる。 	学校外の教育資源を教育課程の内容と効果的に組み合わせ、地域住民等と連携・協働して教育活動に取り組んでいる。	4 3 2 1	4 3 2 1
			魅力ある学校づくりが、魅力ある地域づくりにつながることを理解し、それを地域と共有し、互いに活性化するようにしている。	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑫合意形成に向けた議論の調整・促進	<ul style="list-style-type: none"> ・現実の社会や地域との関わりを意識しながら、子ども同士が議論をしたり、合意形成を図ったりするよう促すことができる。 	魅力ある学校づくり(学校教育目標の実現)をめざして職員が議論をしたり、協働したりするように働きかけている。	4 3 2 1	4 3 2 1
			子どもが集団や自己の生活、人間関係等の課題を解決するために、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりできるような場面を意図的に設定している。	4 3 2 1	4 3 2 1

※他職種の一覧にある資質能力「⑥教科等の指導に関する専門性」は、職務の特質上ありません。

様式 3

〇〇〇第〇〇号
令和9年2月〇〇日

島根県教育センター所長 様

〇〇学校長 〇〇〇〇

令和8年度 専門性向上研修 報告書

1 受講者

職名		氏名		研修用 個人番号 ※	
----	--	----	--	------------------	--

※4月中に研修情報システム MyPage によって連絡した名簿に記載されている3桁の番号のこと。(8桁の職員番号ではない)

2 研修の実施状況

(1) O J T 研修

ア 自己課題の探究

【テーマ】

※計画書に記載していたテーマから変更となった場合、変更後のテーマを記載すること。

【報告及び協議】

段 階	実 施 日
構 想	月 日
まとめと今後の展望	月 日

(2) O f f - J T 研修

オンデマンド研修

研修内容	視聴月	研修内容	視聴月
①人権教育	月	⑥特別支援教育	月
②教職員の倫理とサービス	月	⑦教育の情報化	月
③竹島に関する学習	月	⑧メンタルヘルス	月
④生徒指導・教育相談	月	⑨教育職員としての資質能力を高めるために	月
⑤キャリア教育	月		

3 自己課題の探究のまとめと今後の展望

(1) 自己課題の探究による気づき

(2) これから取り組みたいこと

※ 報告書は2ページ以内に収める。

※ PDFファイルに変換し、ファイル名を 研修用個人番号 (半角英数字)・専門研・報告書・学校名・氏名 として提出する。

(例) 811・専門研・報告書・〇〇養 (学校)・〇〇〇〇

中堅教諭等資質向上研修・専門性向上研修 年間予定表

OJT研修関係

Off-JT研修関係

提出関係

	教諭	養護教諭	栄養教諭	寄宿舎指導員
年間	自己課題の探究			
	授業研究(1回)			
	前年度3月 スタートガイド動画(事前オンデマンド研修動画)を視聴			[3月31日(火)までに視聴]
	5月 「学びの整理シート」の事前課題を記入			[第I回までに記入]
	5月 第I回教育センター研修(集合)			
	5~6月 「自己課題の探究」の構想について報告及び協議			[6月12日(金)までに実施]
	6月 「計画書[様式1]」を作成し、提出			[メ切6月18日(木)]
	7~2月 オンデマンド研修動画を視聴			[2月25日(木)までに実施]
	7~2月 オンデマンド研修について振り返り、アンケートにて回答			[最終メ切 2月25日(木)]
	7月 「学びの整理シート」の事前課題を記入			[第II回までに記入]
	7~8月 第II回教育センター研修(集合)			
		10月 職務研修 (集合)	11月 職務研修 (集合)	
	1月 「学びの整理シート」の事前課題を記入			[第III回までに記入]
	1月 第III回教育センター研修(オンライン)			
	1~2月 「自己課題の探究」のまとめと今後の展望について報告及び協議			[2月19日(金)までに実施]
	2月 ①「報告書[様式3]」を作成し、提出			[メ切 2月25日(木)]
	2月 ②「学習指導案(単元・題材の指導計画と評価計画を含む)」を提出			[メ切 2月25日(木)]

令和8年度

中堅教諭等資質向上研修
専門性向上研修

参考資料集

研修情報システムの操作方法

※ここに表示している画面は、実際のものとは異なることがあります

《研修情報システム MyPage》

●ログイン

https://kensyu.pref.shimane.lg.jp/webrsv/index_personal_training_history.php

又は

<https://x.gd/kensyumypage>



ログイン ID 職員番号(8桁)

パスワード 自分で登録したもの

※初期パスワードは職員番号

●主に使う項目

数値は、教育センターからのお知らせ(未読)の数を表示しています



【マイキャビネット】

- ・教育センターからのお知らせ一覧表示
- ・関係資料の取得、回答(提出)、共有

※研修日の少なくとも3週間前からは、こまめに確認してください

【アンケート】

- ・研修受講後のアンケート回答

【欠席・遅刻・早退・変更 申請】

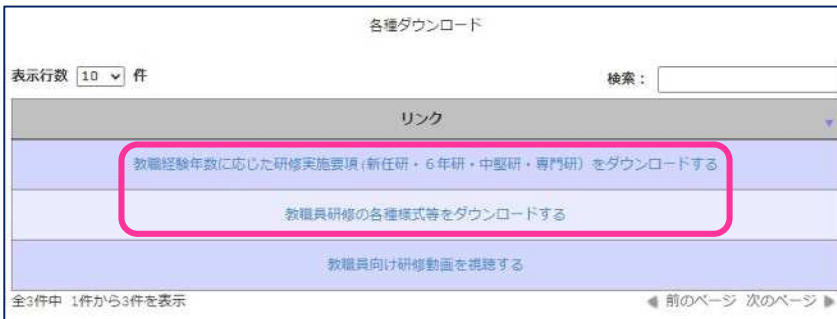
- ・教育センター研修を欠席等する場合は、管理職を通じて研修担当者に電話連絡
- ・学校 Page から所属長の承認を受ける
- ・申請期限は、研修日より3週間以内

研修に関する資料のダウンロード方法

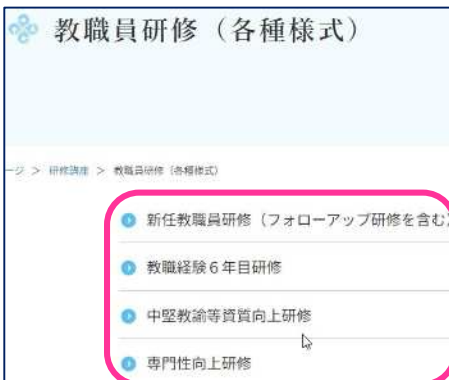
① 研修情報システム MyPage にログイン



② 「各種ダウンロード」をクリック



③ 当該リンク先をクリック



④ 受講している研修をクリック



⑤ 必要な資料をダウンロード

研修動画の視聴方法

[研修動画]から視聴する研修

① 研修情報システム MyPage にログイン



②「研修動画」をクリック

研修番号	研修名	視聴開始日	動画	視聴キー
10072011	教職経験6年目研修(教諭)オンデマンド研修	2025年07月01日	<ul style="list-style-type: none">動画1視聴動画2視聴動画3視聴動画4視聴動画5視聴動画6視聴動画7視聴	<ul style="list-style-type: none">動画1: keiken動画2: keiken動画3: keiken動画4: keiken動画5: keiken動画6: keiken動画7: keiken

③ 研修名を確認し、関係のリンク先をクリック

④ ③に表示されている視聴キーを入力

この動画を表示するには視聴キーを入力してください。

視聴キー

確定

⑤ をクリック



[教職員学びサポート]から視聴する研修

① 研修情報システム MyPage にログイン



② 「研修動画」をクリック



③ 「生徒指導・教育相談」
「詳しく見る」をクリック



④ 次の4つのシリーズ等の中から1つ選び視聴する

- シリーズ「生徒指導のなかではぐくむ」
- シリーズ「不登校児童生徒への支援」
- シリーズ「居心地のよい学級づくり」
- 研修プログラム動画「保護者と学校のよりよい関係づくり」

受講者が関係資料等を取得・提出する方法

① 研修情報システム MyPage にログイン



②「マイキャビネット」をクリック

キャビネット

センターがアップロードしたファイルの一覧が表示されます。必ずダウンロードを行い、内容の確認をお願いします。
※DLの状況は、ダウンロードした時点で「済」に変わります。

表示行数 10 件

書類名	ファイル	日付	取得	回答	共有
6年目研【学習指導案（7月18日締切）】提出について	1_6年目研修(教諭)課題研究構想メモ等の提出について.docx	2024-06-26 09:34	未	未	共有
6年目研【課題研究構想メモ（7月18日締切）】提出について	1_6年目研修(教諭)課題研究構想メモ等の提出について.docx	2024-06-26 09:31	未	未	共有
第1回中堅研授業づくり④学習指導要領のめざすものに関する資料の送付	授業づくり④学習指導要領のめざすもの(資料).pdf	2024-05-30 18:40	未	-	共有
個別最速な学びと協働的な学びについての理解	*中堅研_s.10_事前配布.pdf	2023-05-08 18:54	済	-	-

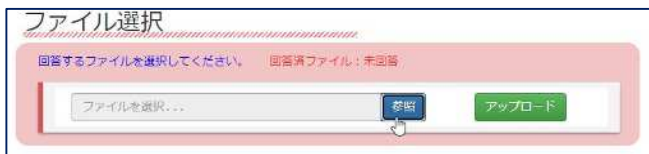
全4件中 1件から4件を表示

【関係資料の取得】

- ③ 受講者宛の「書類名、ファイル名」を確認
- ④「取得」をクリックし、当該資料をダウンロード

【関係資料の提出】

- ⑤「回答」をクリック



- ⑥「参照」をクリックし、提出ファイルを選択
- ⑦「アップロード」をクリック

【受講者同士で共有された関係資料の取得】

ファイル共有

同業者一覧から同業ファイルを取得することができます。

一括ダウンロード

所属	氏名	回答	取得日時	取得
松江市立南小学校		済	2024-07-18 10:24:08	取得
福浜町立高の小学校		済	2024-07-18 17:12:04	取得
松江市立南小学校		済	2024-07-17 17:33:28	取得
福浜町立高の小学校		済	2024-07-17 16:28:55	取得
松江市立養正教育学校八幡学園		済	2024-07-16 19:16:07	取得
出雲市立さくさく小学校		済	2024-07-02	取得

- ⑧「共有」をクリック
- ⑨ 見たい資料の「取得」をクリック
- ⑩ 全ての資料を見たいときは、「一括ダウンロード」をクリック

研修アンケートの回答方法

① 研修情報システム MyPage にログイン



②「アンケート」をクリック

120分以内に回答もしくは一時保存
※120分を超えると、入力したものが消えます



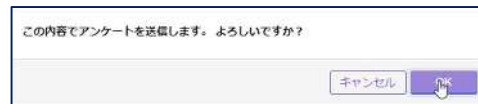
③該当するアンケートの「回答する」をクリック



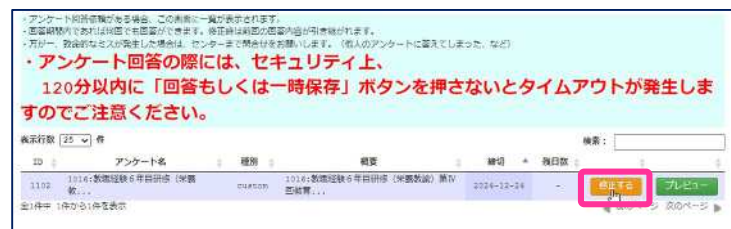
④必要事項を記入



⑤アンケート入力後、「回答もしくは一時保存」をクリック



⑥ 回答、一時保存いずれの場合も「OK」をクリック



⑦ 保存した内容を修正したいときは、「修正する」をクリック

校長(学校代表)が教育センター宛に提出する計画書・報告書等の提出方法

《研修情報システム学校 Page》

※管理職又は管理職から任命された担当者のみ操作することができます

① 研修情報システム学校 Page にログイン

※学校 ID、パスワードは、教育センターから所属長にお知らせしています

② 処理者名を選び、「選択」をクリック

③ 「報告書提出」をクリック

研修分類	研修番号	研修名	確認
職修研修	535	健康教育(学校保健)研修【オンデマンド】	確認
職修研修	6550000	小・中学校研究主任研修	確認
教職経験年数に応じた研修	101	初任研2学期学校訪問指導(提出用)	確認
教職経験年数に応じた研修	415	初任者研修	確認
教職経験年数に応じた研修	605	新規採用普通教諭研修	確認
教職経験年数に応じた研修	940	新規採用児童教諭研修	確認
教職経験年数に応じた研修	1065	フォローアップ研修(教諭・2年目)	確認

④ 当該研修の「確認」をクリック

※ 該当する研修が見つからないときは、表示行数を増やしたり、「次のページ」をクリックしたりしてみる

⑤ 提出ファイル選択の「参照」をクリック

⑥ 提出ファイルを選択

⑦ 提出ファイル選択の「提出」をクリック

誰もが、誰かの、
たからもの。

どんなに時代が変わっても、受け継いでいきたい
それは、人のつながり、あたたかさ

さりげないけど、ほっとかない
互いの顔が見える、人間味あふれる関わりが心地いい


今を見つめ、未来に想いをはせる
そんな心を、ときに優しくつつみ、ときにそっと背中を押す

大切に育んできた“つながる力”は、
自分サイズで、一生懸命生きる人を応援してくれる
未来への原動力

人が人のたからもの
誰もが誰かの応援団

いいけん、
島根県

研修に役立つ資料

資料	リンク先	
6年研・中堅研・専門研 実施要項	研修情報システムMyPage [各種ダウンロード] >教職経験年数に応じた研修の実施要項(新任研・6年 研・中堅研・専門研)をダウンロードする	
様式 (Word ファイル)	研修情報システムMyPage [各種ダウンロード] >教職員研修の各種様式等をダウンロードする	
スタートガイド動画	研修情報システムMyPage [各種ダウンロード] >教職員向け研修動画を視聴する	
教職員学びサポート	研修情報システムMyPage [教職員学びサポート]	
教職員研修の手引 (島根県教育委員会)	島根県教育センターHP https://www.shimane-ec.pref.shimane.lg.jp/ >トップページ「ピックアップコンテンツ」 >教職員研修の手引 >[詳しくはこちら]	

※「教職員研修の手引(島根県教育委員会)」の巻末にも島根県教育委員会発行資料他、
研修参考資料の一覧あり